1月
- 8日 2度目の緊急事態宣言(3／21まで)
- 11日 成人の日のつどい中止
- 25日 東京2020大会開催200日前として金澤翔子氏による書道パフォーマンス席上揮毫(きごう)❶

2月
- 29日 区公式YouTubeチャンネル「めぐろTV」配信開始

3月
- 17日 国内初の新型コロナウイルスワクチン接種が、区内の国立病院機構東京医療センターで開始
- 10日 20年後を見据えた目黒区基本構想策定
- 11日 東日本大震災から10年

4月
- 25日 オリンピック聖火リレー開始(区での実施は中止となり、規模を縮小した点火セレモニーのみ実施)
- 1日 特別養護老人ホーム・身体障害者入所施設などの複合施設「こぶしえん」開設

5月
- 25日 3度目の緊急事態宣言(6／20まで)
- 1日 医療従事者と地元飲食店を支援する心にさくらプロジェクト実施(5／31まで)❷

6月
- 6日 区集団接種会場で新型コロナウイルスワクチン接種開始
- 28日 キッチンカーによる飲食物の販売「ナカメテイクアウトプロジェクト第3弾」実施(9／30まで)❸

7月
- 1日 障害者の就労を支援する施設「おむすびカフェ米創庵」が区民センターにオープン
- 4日 東京都議会議員選挙
- 12日 4度目の緊急事態宣言(9／30まで)
- 20日 電子書籍利用サービス「めぐろ電子図書館」開始
- 22日 オリンピック聖火リレー点火セレモニー開催❹

8月
- 23日 ブルーインパルスによる五輪マークの展示飛行❺
- 23日 東京2020オリンピック開催(8／8まで)
- 1日 特別養護老人ホーム「さんホーム目黒」開設
- 1日 めぐろ区報リニューアル
- 6日 めぐろとくとく商品券(第1回)申し込み開始
- 6日 平和祈念事業平和の石のつどい・平和の鐘打鐘
- 13日 都の新規陽性者数が過去最多5908人に
- 20日 パラリンピック聖火リレー区パラリンピック採火式開催
- 24日 障害福祉施設の商品を販売する「COHANA(コハナ)」が区民キャンパスにオープン
- 24日 ブルーインパルスによるパラリンピックシンボルの展示飛行

9月
- 24日 東京2020パラリンピック開催(9／5まで)
- 1日 めぐろとくとく商品券(第2回)申し込み開始

10月
- 1日 めぐろとくとく商品券(第3回)申し込み開始
- 3日 目黒のさんま祭25周年記念「目黒のさんま」新作落語コンテスト開催❻
- 4日 岸田内閣発足
- 15日 めぐろキャッシュレス決済ポイント還元事業(第1回)

11月
- 31日 衆議院議員選挙
- 28日 目黒シティラン オンラインハーフマラソン開催(12／11まで)

12月
- 1日 めぐろキャッシュレス決済ポイント還元事業(第2回)

❶ ◀目黒区生まれの書家、金澤翔子氏が、オリンピック・パラリンピックの成功を願い、書を披露

❷ ◀▼医療従事者の皆さんに、お弁当と、多くのかたの感謝の気持ちをつづった応援メッセージを届ける取り組み

❸ ◀目黒川船入場でキッチンカーでの飲食販売を支援する取り組みを実施

❹ ◀青木区長から、目黒区の第1走者の原辰徳氏へ、聖火を点火するセレモニー

❺ ◀オリンピック開会式当日、目黒区の上空を飛行したブルーインパルス

❻ ◀目黒とさんまをお題にした、新作落語コンテストをオンラインで開催。写真は最優秀賞の麹家と太郎氏

コロナとともにあった 2021年の振り返り

区民の皆さんに、11／1～15の期間で、コロナで変わった日常などに関するアンケートを行い、2,858件の声を寄せていただきました。感染拡大が止まらなかった2021年。その中で、皆さんはどのように感じ、日々を過ごしたのかを紹介しながら、2021年を振り返ります。

問広報課区報係(☎5722－9486、FAX5722－8674)

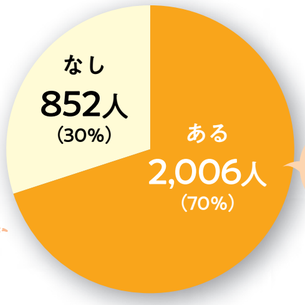
2022

Q1 2021年で印象に残っていることは？
(複数回答可)

1 新型コロナウイルスワクチン接種(89%)
2 東京2020オリンピック・パラリンピック開催(73%)
3 緊急事態宣言の発令(58%)
4 東日本大震災から10年(30%)
5 岸田内閣発足(27%)
6 めぐろとくとく商品券の発行(15%)

約9割のかたが新型コロナウイルスワクチン接種と回答

Q2 コロナ禍で、2021年と2020年で異なった点はありますか？
(仕事内容やプライベート、気持ちの変化など)



7割のかたが「ある」と回答

2020年は、全てが止まった感じで、2021年は、ウィズコロナという感じで、制限のある中でも、感染対策をしながら、日常に戻ろうとしていた気がする(50代・女性)

なかなかゴールが見えないトンネルに精神的に疲れた。子どもたちはもっと疲れていたと思う。在宅ワーク、オンライン授業、自分の仕事、家事、モチベーションを上げるのに精いっぱい(50代・女性)

よりコロナが身近な問題になった。やみくもに怖がるのではなく、具体的な恐怖に変わった感じ(50代・女性)

ワクチンには不信感があったが、夏の感染を目の当たりにして、打つことを決めた。打ってから、感染者が激減したこともあるが、精神的に楽になったと思う(30代・女性)

2021年に入り、こんなにもコロナ感染拡大や緊急事態宣言、オリンピック開催などの不安な生活が長引くとは思わなかったので2020年以上に心身共に疲れた(40代・女性)

これから先いつ何があるか分からないのと、いつ無くなってもおかしくないものが日本にはたくさんあるということを認識し、無くなっても後悔しないように今のうちに見ておく、食べておく、行っておくなどの行動を取るようになった(30代・男性)

友人と会うことができずとても寂しい思いをした。心に穴が空いたようで今まで経験をしたことのない苦しみを感じた(70代・男性)

Q3 あなたが考える「新しい生活様式」とは？

客商売でテレワークなどと無縁だったが、急速にキャッシュレス決済が広がったと感じた(30代・女性)

企業はもとより学校や官公庁(区役所とか)への手続きなどもDX(※)へシフトしていくこと。コロナ禍でようやく実現できたテレワークなどの文化を元に戻さないこと(40代・女性)
※DX＝デジタルによる変革

夫がリモートで家にいる生活となり、家事を分担してもらうことにした。自分も働きやすくなったと思う(50代・女性)

時間や場所に縛られない自由度の高い生活様式(30代・女性)

Q4 ウィズコロナだからこそ得たもの、気付けたこと、また失ったものは？

自分にとって大切な人や物が見えてきた(50代・男性)

失ったものは子どもたちの学校生活での行事などの思い出。運動会や学芸会、音楽会、文化祭、授業参観。ほとんどの行事が中止になり、親子ともども残念に思っています(40代・女性)

家族や友人と自由に会える、ご飯を一緒に食べる、遊びに行くことができることがどれだけ幸せなことかに気付くことができました(40代・女性)

子どもの成長を両親に見せられなかった(40代・女性)

不要な紙書類、不要な会議、不要な業務、全て浮き彫りにできたこと。無駄を省いて効率よく成果を出せるようになったこと(30代・男性)

1人で生きていくことの怖さ(50代・女性)

妻の苦労を理解できた(40代・男性)

エッセンシャルワーカーの方々のありがたさ(50代・男性)

失ったものは日常生活で、「あの人マスクしてない、嫌だな」など以前では気にもしなかったことにストレスを感じるようになってしまったことがものすごく残念に感じます(30代・男性)

実は、テレワークでもできることが多い、というのが衝撃でした(60代・男性)

マスクで表情が見えない、会話の制限の中で、自分も相手も不快な気分にならないよう「ありがとう」の一言を意識的に言うようにした(60代・女性)

Q5 2022年に期待したいことは？

4面に続く→